



白樺は空に向かって立つ

# 湧雲

第4号

2012年8月25日発行

発行・北海道深川西高等学校同窓会  
〒074-0012 北海道深川市西町7番31号  
TEL 0164-23-2263 FAX 0164-23-2264

同窓生数  
16,303名

デザイン・印刷・SALAT (株) サラト  
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172  
Tel: 079-284-1380 http://www.salat.co.jp

## 記念植樹状況報告

2011年10月10日

前日の快晴に比して本日の予報は曇りのち雨。時間予報では午前中は曇りで午後から小雨から大粒に…。嫌な予感。事前の準備に9時頃に山に入る。時折青空の見える空模様はひよっとすると雨は降らないかも知れないのと思っても過ぎる。11時には委員は山に入り下準備、事務方は学校で生徒のお出迎え。車にスコップを積み込んで生徒の到着を待つ。



集合写真

35分にハニールに向かってバスは出発する。雨がパラパラ…。40分には到着、食事の出るまで植樹の概略を説明する。「キタコブシ」は桜より花の便りが早いこと、グランドの地続きの東神社に生えている大木のこと、香りが素晴らしいこと、実の形が拳に似ていることからつけられた「こぶし」。名前の由来と学生の歌に歌われている「こぶしを天につきあげる♪」をダブらせて説明。2回目になった記念植樹を続けていくこと、何年か経った時に思い出して欲しいことをお願いした。

雨模様なので植樹作業を早める案内も行なう。説明

も行った。説明

は本格的になってきたが食事中に上

がるだろうと全員

で楽しくハンバー

グでの食事会とな

る。ここまできた

と決めて植樹会

へとバスに乗り込

むが激しいスコ

ールのような雨に見

舞われる。そんな

雨の中、委員の待

つ会場に到着した

が、委員の手で6

本は既に植樹し

て待っていてくれ

た。生徒は男子、

女子と2箇所に別

れ作業に入るが、

雨は止まずに傘を

さして部分植樹を

終了。そそくさと

記念撮影をしてバ

スの中に退散と相

学校に到着して解散となったがこの頃には雨は上がっていた。早めに撤退したので大西会長のご厚意で沼田方面に生徒を送っていただいた。美味しい食事会だったのか楽しい植樹会だったのか…。いずれにしても思い出深い一日となった。皮肉にも翌日は快晴だったことを記しておく。

### 〈追記〉

作業中に着用するヘルメットを昨年は美唄からお借りしていたが、今回、委員会では正面中央に校章、サイドに校名を記したヘルメットを新調いたしました。植樹や校庭の作業に着用することに致しました。みんな良く似合っていましたよ。

## 桜の森の危機

2008年10月19日、70周年記念で70本の桜を植えて桜の森にしようと始まった事業も紆余曲折を重ねながらも4年目を迎える。ピンクに染まる日を夢見ながら突き進んだ4年間だったが実現には更に月日を要しそうだ。

初年度は伸びたばかりの枝を鹿に食べられ、鹿に負けじと即戦力を期待し植栽した3本の成木が数輪の花を咲かせたことから一昨年10本補植、これは順調に根付き花を咲かせたので昨年の秋に更に10本補植を行なった。見通しが立ち始めた矢先の今年の春先、2mもの積雪部分で出ている部分をウサギに幹回りを一周する被害に遭い、育ちつつあった3本の上部があえなく枯死。積雪部分からは萌芽しているものの健全に育つ保証もなく植え替えが必要と思われる状態になってしまった。他に日本が幹廻りの半分ほどが被害されているが将来とも順調に育つ保証もなく今後の樹の状態を診ながら判断をしたいと思います。

広場のすぐそばで今年も花を見せてくれた自生の桜の力強さに改めて感心したものである。今秋も数本の補植を行なう予定ですが、食害の防御方法としては金網を巻く以外に残された手段がないように

に思われる。

早く同窓生のみなさんと盛大な花見を開催したいと思っていますがいつになったら実現するのでしょうか。

## 八重桜は今年も咲いた。

例年になく大雪に見舞われ八重桜も排雪の雪山の中にすっぽり埋もれてしまっただが、冬期間の数回の巡視で守りきることが出来た。今年は新梢も伸びて一回り大きくなった感じがする。築山も落ち着きを醸し出して安定感も出てきた。もう少し太くなって下枝が雪に埋まらなくなら

るくらいに早く大きくなくなっで欲しい。来春はもう少し多くの花をつけてくれると思う。



八重花は輝きを増して



植樹風景

# 同窓会総会開催報告

第六十九回の総会が、五月十七日  
プラザホテル板倉にて山下校長、石  
見教頭、事務長ご臨席の中、同窓生  
五十余名が出席して開催された。会  
長挨拶の後、校長より挨拶をいただ  
く。昨年の生徒進路状況、部活動等々  
の報告がなされました。引き続き  
吉川 保さんが議長となり議事進行  
し、次の議案が審議されました。

## 一、平成二十三年度

### 事業報告及会計報告

## 二、監査報告

### 平成二十四年度

### 事業計画及予算案

- ① 同窓の集い実行委員会構成の件
- ② 緑の学び舎運営委員会

### 事業計画について

- ③ 同窓会会報の発行について
- ④ その他
- 四、その他

二十三年度に関しては事業報告通  
り承認された。事業報告、特別委員  
会報告は会報別記掲載。

今年度の事業計画の審議にはいる。  
今年度も同窓の夕べを開催の承認  
を得る。実行委員は末尾「五期」で  
構成いたします。

二十四年度事業の同窓会会報四号  
の発行はご協力いただいた同窓生  
の方のみに送付することで承認をいた  
だきました。

総会の最後に「画像で綴る事業報  
告」を行った。

HPの開設は二十年八月に運用開  
始。現在画像の保管場所の関係で更  
新がなされていない。対応を図り順  
次内容を充実していくつもりです。

# 平成23年度事業報告

自・平成23年4月1日  
至・平成24年3月31日

## 1、会議・行事に関する事項

### 平成23年（2011年）

- 4月8日 平成23年度（第66回）入学式  
入学生135名
- 4月14日 転入教職員歓迎会  
役員会
- 5月11日 第68回定時総会
- 5月25日 同窓会会報第三号発行
- 8月20日 同窓会全員に送付
- 9月17日 同窓の集い  
会場・プラザホテル板倉  
参加者246名位  
（完券枚数319枚）
- 10月10日 第2回の卒業記念植樹挙行政  
（第64回生）「辛夷」

### 平成24年（2012年）

- 2月26日 北斗会第49回総会  
参加者13名
- 2月29日 同窓会入会式  
入会者153名  
卒業生153名  
第64回卒業式
- 3月1日 転出・退職教職員送別会  
転出及び退職者 7名
- 5月10日 会計監査  
役員会
- 5月12日

## 2、会報の編纂

- ①臨時号・発行なし
- ②本 号・8月20日第三号  
（通算・第13号発行）  
住所判明の同窓生全員に送付

## 3、母校の後援に関する事業

- ①10年計画による前庭の植栽の点検  
（4年目）

## 2、各部で活躍する在校生への支援

- ②各部で活躍する在校生への支援  
バトミントン・陸上
- ③10月10日・卒業予定者（第64回）  
8名による記念植樹「コブシ」
- ④プレス幕の貸与
- ⑤校庭に「アオダモ」を3本植樹
- ⑥校舎に屋外用大時計設置  
（寄贈時計の設置）

## 4、会員相互の親睦、交流に関する事業

- ①同窓の集い（上記報告）
- ②各支部現況報告同窓会会報にて報告
- ③各期の動き（同窓会会報にて報告）

## 5、同窓会林に関する事業

- ①同窓会林訪問は今期中止
- ②湧雲の泉の周辺整備と管理、  
作業道維持管理  
修練道場跡地、湧雲の白樺、維持管理  
「桜花爛漫」会場林の維持管理
- ③同窓会林の維持管理  
間伐作業実施、作業道、管理道路整備
- ④森林組合関係（事務連絡）
- ◎総会  
6月1日（経済センター）  
委任状で議決権を提出済み  
◎地区別懇談会  
音江公民館で開催 3月1日（欠席）  
森林経営計画の説明と森林経営  
委託契約締結

## 6、その他

- ◎本会の目的達成のため必要な事業
- ①同窓の部屋の収蔵品の収集継続
- ②記念誌・名簿・CDの在庫状況
- ③HPの運営・深ナビへ情報発信
- ④写真パネル・現有  
90枚余所蔵、管理保管は学校
- ⑤名簿の更新作業継続
- ⑥創立60周年記念テレホンカード  
処分方法の件・・・147枚  
額面500円が引取価格1000円なので  
同窓の夕べで協力を得て処分する
- ⑦創立70周年記念事業会計の  
同窓会への管理移行

# アオダモ植樹

2011年11月12日  
深川西高校前庭

## 【参加者】

岡部、堀川、内村、篠原、藤井、溝口、  
野球部OB会・桜井会長  
学校・石見教頭、吉田先生  
野球部顧問、監督、生徒

「校庭で育った樹で作ったバットで  
甲子園へ」  
バットが取れるまで数十年先の話で  
すが、夢は大きく掲げなければ夢じゃ  
ない。更に、アオダモの樹を多くの人  
に知ってもらいたい。特に野球部の生  
徒たちには知って欲しいと予定されて  
いる白樺の植樹もさることながら、先  
立って野球部のバットに使われるアオダ  
モの樹を植える話が急速に進行。この  
話は以前からあったのですが苗木の確  
保が出来たことで一気に話は進みまし  
た。

雪の知らせを告げる寒波を二日後に  
控えてはいたが、巡り合わせが良かった  
のか絶好の晴天となりしかも寒くも  
なく恵まれた植樹日となった。  
前日準備した植穴は三箇所。岡部  
委員長から樹の説明と植え方等につ  
いてお話があり、野球部の生徒は三班に  
分かれてそれぞれ植樹を行なう。大変  
な作業ではないので順次交代で土を寄  
せ芝生を乗せて植え込みは完了しまし  
た。全員で記念撮影をしてから、背の  
高い生徒の手伝いを得て添え木を打ち  
込み、しっかりと打ち込んだ添  
え木に雪折れからアオダモを守  
るために縄を巻いて終了した。  
苗木の提供は岡部委員長から  
だったことを記憶しておきます。

紅葉は道路側に葉が落ちてい  
ないものが一本残っていて、秋



集合写真



根付いたアオダモ

春、例年になく大雪の中でアオダモ  
の枝折れが心配されたものの添え木に  
しっかりと固定されていたこともあつ  
て今は夏の日を浴びてしっかりと新梢  
も伸びて倍ほどの大きさになりました。  
雪の上に枝が出るようになれば心  
配はないのですが…。  
今秋も添え木をしてあげなければい  
けないかな。



## 学校後援事業

同窓会では同期会などで使用できるように下記アイテムを用意しています。利用を希望される方は学校に問い合わせただければ借りることが出来ます。尚、紛失、破損等に際しましては責任を持って対応して戴きますようお願いいたします。

### 1、プレス幕

一昨年末、同期会や報道などに対応するべくプレス幕を作成しましたが大変好評を得ています。深川で開催の同期会開催時にはほとんど使われています。

### 2、闘魂幕2種4枚

(1,800×600と1,200×900)

### 各種

体育系  
大会では  
部旗とし  
て必須の  
グッズで  
すが広く  
様々な分  
野で使用  
できるよ  
うに校名  
のみ表記  
し「鉄を  
も溶かす  
炎を燃や  
せ」「湧  
雲」の2種  
類4枚を作  
成いたしました。  
揮毫は三下  
貴康さん  
です。



激励旗、健闘旗、会旗などとして使  
用していただけます。

他にも校歌CD(できるだけ買っ  
てください)、支部単位で集まりがある  
ときには「なつかしのパネル(60枚位)  
も貸し出しできますがパネルにして  
いない期が多いです。

## 校舎壁面に

## 大きな時計を設置

2011年11月28日 運動部の先生  
から「校舎の壁に大きな時計があつた  
ら良いんですが、なんとかありません  
か?」と言う話が学校内で持ち上がった。  
この話を聞きつけた校務補さんが  
「大きな時計なら倉庫に有りますが...」  
という顛末。

突然、倉庫から出現した時計には  
【贈・林 正衛・林 浩一】  
1986年11月23日(S58)

と書かれていた。ここに大時計は  
二十八年ぶりに姿を表した。新校舎完  
成に合わせて林さんから寄贈されたも  
のらしいが、どうして倉庫に仕舞い込  
まれていたのか経緯はわからない。

降った雪が融けかかった晩秋の快晴  
の景色が窓から見える事務室に、須藤  
校長、石見教頭、加藤事務長、話を聞  
きつけた溝口幹事長が直径87cmの大時  
計を前に急遽鳩首会談を開催。坪田電  
氣に急遽来てもらい取り付け現場と見  
積を依頼する。動くかどうか心配では  
あつたが坪田さんが会社で通電したと  
ころ動くことを確認。其の報告を受け  
て贈り先の林さんに連絡をいれ長年の  
不義理に対してお詫びをする。林さん  
からは「昔の話ですっかり忘れていま  
した。もし動かなくなったら連絡をくだ  
さい」とのお言葉  
をいただく。

2011年12月

17日 少し積もつ  
た雪をものともせ  
ず大時計は校舎の  
壁面に取り付けら  
れました。以来、  
大雪の中、春、夏  
と生徒の躍動と四  
季の移ろいを見な  
がら正確に時を刻  
んでいます。



## テーマ

## Venture Sprits ～伝統 生きづく 我等あり～

7日は開祭式に引き続いて連合の演劇の前半の2組を行い、アピールタイムと生徒会企画の楽しい催し。2日目の8日は連合演劇の後半2組。生徒会企画の2日目を終了して、いよいよ何日もかけて創った行灯行進。今年は行灯のコースが従来と変わり花園公園を通らずに短縮されたコースを行進することとなった。それでも元気づく明かりのともった行灯を担いで最終版のファイヤーストームを行なった。最後は陽の沈みかけたグラウンドで次々と打ち上げられる花火の中で青春の歓声を上げ続けた。

## 第63回

## 学校祭

7月7日～8日

## コーラス大会に寄せて

校長 山下 薫  
—プログラムより抜粋—

五月に入り、早朝から爽やかな歌声が校舎に響くようになりました。これが噂に聞く「深川西高コーラス大会の練習か!」校長室のドアを開け、じっと耳を澄まし聞き入りました。女子の澄み切った声、男子の地面から響いてくるような重低音、何とも私の淀んだ「心」を浄化してくれる感覚に浸っています。生徒の皆さんに感謝です。

さて、本校のコーラス大会は歴史と伝統があり、今回で56回を迎えます。新学年がスタートして間もない時期に、まして練習時間が2週間程度、かなりの困難が待ち受けていることとします。「全員が集まらない」「やる気がない」「思うように声がでない」「クラスが分裂しそう」「ピアノ演奏がうまくいかない」などなど、数え上げたらきりがなく、クリアすべしハードルが待ち受けています。



しかし、これからの高校生活をより充実するための試練と考える、前向きに取り組んでください。人それぞれ顔かたち、考え方、歌うことの得手、不得手...違っていていいのです。そして、心一つに作品を作り上げる、作ろうと努力する準備が最も大切であると思います。先輩方々は、それを乗り越えていき

## 校外活動について



今年新たに着任された校長の巻頭言を転記させていただきます。  
深川市文化交流ホール「みらい」の間は2週間の時間の集積の発露の場となり、濃密な閉鎖空間が生み出されました。



# 各期動向報告

(カッコ内は情報提供者・敬称略)

## △旧中二期▽

八十六歳からの年齢になり、連絡が取れない状況になりました。  
(注・同窓会名簿のトップの赤川大先輩はお元気で歩いておられます。)

## △旧中二期▽ (旧制深中2期会)

平成十四年を最後に同期全員の開催を取りやめとしたが二〇三年ごとに有志で開催していましたが、この頃さらに高齢になり、会の集まりも不自由になりしばらく開催もなし。高齢になり参加者がいよいよ少数になる。(横山 猛)

## △旧中三期▽ (旧制深中3期同期会)

毎年開催。十七年には記念誌を制作。  
十九、二十、二十一、二十二も九月札幌にて開催。危ぶまれた二十三年も十月に開催。今年は未定だが、多分、開催すると思う。(三浦巧丸)

## △旧中四期▽ (旧制深中4期生)

平成十五年と二十年中島武敏元代議士を囲んで(ふれあい会館)集まる。全体の集まりは高齢の為、開催していません。(前田正太郎)

## △旧中五期▽ (旧制深中5期会)

毎年開催。十五年鎌倉。十六年函館。十七年札幌。十八年美唄。十九年六月深川。十月台湾へ修学旅行。二十年には開校七十周年記念に合わせて式典終了後開催。二十一年以降は津田氏が行ったため幹事の確認とれず。

## △一期▽

平成六年岩見沢市、七年滝川市、八年幌新温泉一泊、九年箱根・東京二泊、十年深川市、十一年定山溪温泉、十二年滝川、十三年岩見沢

## △七期▽ (深西7期同期会)

三年毎に旭川、深川、札幌と持ち回りで開催している。十四年深川で開催、板倉に六十人参加。十七年は五十年を札幌にて八月開催、五十人参加。二十年旭川。二十三年九月五日深川開催。(請川公二)

## △八期▽

不定期開催。二十年六月札幌第一ホテルで開催。高齢となり最後の同期会と言うことで六十五名参加。それ以後は各クラスやグループで少人数で開催。二十一年八月深川在住者。九月には札幌で開催した。(大井信之)

## △九期▽

十年深川・十二年旭川・十四年札幌・十六年北竜。十八年東京。毎年開催の意向を受けて十九年秋に定山溪、小樽。十九年三月深川在住者で開催。二十年九月深川開催・「ゆう&ゆ」に四十七名。二十三年九月四日、沼田ほろしん温泉にて全体の同期会を開催しました。五月八日、東京方面でミニ同期会。五月九日市内在住者のミニ同期会、パークゴルフの会を開催。秋には東京で全体の同期会を開催予定。(倉嶋克郎) 別欄詳細掲載。

## △十期▽

五年に一回の開催。  
十五年六月に四十五周年記念として北広島で開催。二十三年十月二十日定山溪温泉にて五十八名の参加で旧交を温めました。(星野友雄) 別記掲載。

## △十一期▽

十二年八月還暦記念を深川で開催、十六年は八月札幌七十名。十八年十月深川で開催。二十年札幌。昨年開催予定がお流れとなり今年は開催する予定を立てています。(山森世津子)

## △十二期▽ (西高35年卒同期会)

十三年秋、還暦同期会を開催、参加五十八名。十八年小樽にて開催。二十二年六月深川にて開催。(板倉克宏)

## △十三期▽ (三六会・サボロウ会)

## △二十期▽ (深川西高第20期同期会)

四年に一回の夏季五輪開催年に合わせて開催しています。十二年六十名参加(深川ホテル)。十六年は八月に開催した。二十年八月深川で開催。東京組は二年毎に開催。二十四年八月四日深川にて開催します。午前中、深川CCCでコンペ開催。  
道内在住者の有志で親睦ゴルフを毎年盛会の中に開催しています。(小川広見)

## △二十一期▽

十四年八月。十八年八月開催。二十三年八月十三日深川にて開催。(梶川寛) 別欄掲載。

## △二十二期▽

十二年卒後三十年で開催。参加六十名(日の出)。二十年八月札幌開催。(寺岡義人)

## △二十三期▽

十三年八月に三十年を記念して札幌にて開催。出席者八十余名。  
二十四年六月三十日いた蔵にて卒後四十年記念して開催。(轡田光章) 別欄掲載。

## △二十四期▽

十四年札幌。十六年六月深川(日の出)にて開催三十五名。十七年六月札幌にて連続開催。二十年六月「まあぶ」にて開催。(江崎 稔)

## △二十五期▽

十四年十一月に札幌にて開催。七十名参加。(佐藤賢治)

## △二十六期▽ (49年卒業同期会)

十六年は卒業三十年で九月札幌にて開催、百名参加。(小林健二)

## △二十七期▽

十六年一月二日開催し七十四名参加。今年開催の予定。(中川博行)

## △二十八期▽ (第28期同期会)

三回目となる同期会を十七年八月板倉にて開催。百名を超える参加あり。五年ごとに開催。第四回目の同期会を二十二年八月札幌にて開催。

## 支部報告

### 旭川支部 総会報告

#### 《参考》

第一回 昭和五十三年 一八〇名  
第二回 五十五年 一二二名  
第三回 六十二年 一六六名  
第四回 平成十三年 一二〇名  
この後開催がありません。

### 小樽支部

支部長・秋山会長死去につき後任会長は未確認。

### 東京支部 総会開催

第十七回総会は十九年九月二十九日開催。当番期は四十九年(26)・五十年(27)卒業期が担当しました。参加者は七十一名。

第十八回総会は二年半ぶりの開催でした。二十二年度六月十九日に開催。当番期は五十一年(28)・五十二年(29)卒業期となりましたが幹事が構成できず今回も五十年(27)が担当しました。参加会員六十五名。

第十九回開催年となっていますが開催していません。若い世代への橋渡しが重要な課題です。

(中村欣也)

十四年深川、十五年札幌、十六年滝川、十七年札幌開催を最後に取りやめ。(中村隆志)

△二期▽ (旧制中学7期・深川西高2期の集い)  
毎年秋に開催。東京、札幌、深川持ち回り。  
十二年は卒業五十年で札幌、十三年はホテル館、十四年は東京、十五年は札幌、十六年は深川。二十年「喜寿の集い」をもって期友の会を打ち上げしました。その後、関東、関西、北海道全域から同志が集まり一泊どまりで温泉旅行を開催二十名参加。今では百八十名居た同期生も百四十名位が出席不可能な状態です。全員二十三年の誕生日で八十歳。最終サバイバルにさしかかりました。(林 正衛)

△三期▽  
東京は毎年開催。札幌は随時開催。深川は三名ですが元気なし。(島田克之)

△四期▽ (深川西校第4期生同期会)  
札幌が中心になって毎年開催しています。  
十六年札幌は六月、東京・四葉会は一月に開催。十七年は六月札幌、十八年札幌開催。十九年五月定山溪で、卒業五十五年で偶然にも五十五名が参加。二十年六月札幌。二十二年六月「喜寿」を祝う同期会を開催。同期生全員に案内するのはこれが最終回でしたが二十三年六月二十日開催。今年も六月に開催いたしました。別欄詳細掲載。(佐藤範子)

△五期▽  
不定期開催。

△六期▽ (西高29会)  
深川組は十四名。毎年旅行を実施してきたが最近では昼食会やパークゴルフを行っています。札幌勢は年に六回集まり、東京勢は年一回集まる。全体での開催は十七年札幌が最後。深川支部は二九会なので毎年六月二十九日に開催している。  
二十二年は都合により二十九日開催が出来ず十九日の開催となりましたが昨年、今年と二十九日に開催できました。二十二年五月には札幌支部の総会も開催され深川からも数名参加しました。(高合護郎)

平成十年HP開設 ML(倉山昭男)

<http://www2.big.or.jp/~jycclub/>  
<http://www.egroups.co.jp/group/36kai>  
十四年六月還暦記念同期会を開催、板倉。二十年開催。二十二年六月秩父別温泉「ゆう&ゆ」で開催。(吉川保)

△十四期▽  
十六年五月還暦同期会を開催、深川ホテル。二十年二月天人峡パークホテル。二十一年九月十三日深川にて開催。同期生七十六人、恩師三名。本年九月十三日札幌支部による発起人で開催。(堀川勝之) 案内別欄掲載。

△十五期▽ (深西38会)

以前は五年毎に開催していたが間隔が狭まった。十年は十一月、十五年は札幌で開催。十七年十月九日開催。十九年九月旭川開催。二十一年十月定山溪グランドホテルで開催、六十三名が出席。今年、深川で開催します。(杉山一成)

△十六期▽ (深川西高16期卒業同期会)

五年毎に開催。十一年から三年毎の開催にしました。二十年九月開催。二十三年十月十日板倉にて開催しました。次回は二十六年六月二十二日に卒業五十年で開催いたします。(星野孟 詳細別欄)

△十七期▽ (高17期同期会)

十二年に板倉、十七年八月板倉で開催。四年に一回。(濱田靖夫)

△十八期▽ (猪子会・いのね会)

十七年九月札幌にて開催六十名。二十年十月、富士屋にて開催六十名。東京組は毎年開催で二十年は九月。札幌組は随時集合。深川組は毎年夏、冬と開催している。  
二十三年十月十六日、札幌にて開催。(深沢 倬子) 詳細別欄。

△十九期▽ (深川西高19期卒業同期会)

五年に一回の開催。十七年旭岳のふもと湧駒別温泉で開催。登山も兼ねた。二十年は「ゆう&ゆ」で還暦同期会を十月開催。(藤川克紀)

催。(増永博志)

△三十一期▽

卒業二十年を十一年に深川で開催。百十名。卒業三十年を記念して二十一年に出席者八十名で開催。二十五年に開催予定。(宮沢孝司)

△三十二期▽

今年一月二日、板倉にて二十八年ぶりに八十五名の参加者を得て開催しました。(三上 貴康) 別欄掲載。

△三十三期▽

二十三年八月十三日、板倉にて開催。(水上 真由美・久保田隆之)

△三十四期▽

卒業二十年を十四年に深川で開催。

△三十五期▽

卒業十五年を十年に深川で開催。(田中一幸)

△三十六期▽ (深川西高36回生同期会)

卒業二十年で十六年一月板倉にて開催、九十九名参加。

卒業二十五を二十一年一月に開催。二十三年十月一日に第三回同期会を開催致しました。深川西高校(第三十六期生) 掲示板開設中です。(渡辺哲男)

△三十七期▽

十四年に板倉にて開催。

△三十九期▽

十三年二月、日の出会館で開催参加、四十四名。

△四十四期▽

二十三年一月。

△四十六期▽

二十三年四月に第一回を板倉にて開催。当初五十名以上の参加申込が東日本大震災の被災地支援の関係から消防、自衛隊など関連に勤務しているメンバーが参加できなくなり四十名余の参加となった。(佐藤真真)

## 北斗会49回 総会開催

二月二十六日大西会長、山下市長出席。今回は滝川の前田康吉市長も参加されての開催。参加十三名。

△五十四期▽

二十三年六月十三日、プランシユネージュに五十人が集合。(及川賢二)

ご協力頂いた期の幹事の方や世話人の方には大変お世話になっていきます。

例年通りですが、記載の情報はこの四年間の積み重ねです。前年までの情報に新たな情報を追加しているだけです。事務局では記載の期以外把握して居ません。きつと開催しているところもたくさんあるのだらうと思います。情報の収集に努めていますし、各期の協力者を探し支援を頂きながら、それぞれの期の動向が今以上に判明するように努力しています。なかなか望みがかないません。情報をお寄せいただければより充実した会報になるのですが。。。。

それぞれの期の幹事の方には最新の情報を総会の案内の返信欄に記載して頂ければありがたいと思います。

同窓の夕べの実行委員会がきっかけで同期会を開催したところも多いようです。きつかけを大事にしたいと思っていますので宜しくご協力ください。





## 4期 卒後60周年記念の集い

開催日・24年6月20日  
恩師・沼田 夫先生他 参加者44名  
会場・札幌

### 【状況報告】

「卒後60周年記念の集い」を今年6月20日に久方ぶりに恩師・沼田 夫先生をお迎えして、遠くは広島、神戸、藤沢、いわきからも参加の総勢44名。昨年、闘病むなしく逝つた友、前回楽しく盃を重ねていた友の信じられない急逝。その面影を偲んで黙禱を捧げました。「記念の集い」と謂う事で出席者全員、特に女子は旧姓で出席を取るというサブプライズで会が始まりました。

# 我らの同期会

神戸から参加の山下健司さんの音頭で声高々と「乾杯!!」その後はいつも変わらぬ大盛り上がり。あつちの席、こちの椅子でと雀の学校よろしく話が飛び交う。全道各地から集めた銘酒やワインに酔いしれつつも、何時もながら細やかに準備、開催を運営してくださる世話人の皆様に喜びと感謝の集いでした。来年は「傘寿の集い」。

参加の可否は別として案内を欲しいという方々が多数居られるとのこと。同期会に対する「思い」は格別なんでしょうね。世話人の皆様もその期待に添う方向で準備を始めてくださるようです。

語りつくせぬ思いを胸に、お互いの健康と無事を祈りつつ、明日在ることを念じながら夜の街に散っていきました。

【報告者・佐藤範子】

## 9期同期会

### 【状況報告】

大型台風12号、関西で甚大な被害を出し日本海へ出るも超スロウモーターでなかなか北上せず。我が9期の同期会は9月4日〜5日の開催であるが台風は本道への上陸の恐れあり幹事一同3日から対応に追われる。

若し、参加者が減少した時には？ホテルとの折衝も回を重ねる。

4日は大雨の影響で朝からJRは運転見合わせ。参加予定者へ、道路、交通状況をTELするなど慌ただしく半日を過ごす。正午近くJRも回復、全員沼田町ほろしん温泉に集合する。総勢37名。津田（旧姓・満田）先生も遠く兵庫県より参加される。

津田先生曰く「今日、ここに集まれたということは幸せということ」。

皆元気、「良く食し、良く飲し」歳を重ねるも往時のことに話題は集中、旧交を温めた。

【報告者・倉嶋克郎】



## 第10期同期会

### 【状況報告】

我が第10期同期会は昭和63年から5年毎に順調に開催されていたが、今回は諸般の事情により3年遅れて開催された。札幌在住の片山君が中心になり地元の上の期たちが協力して開催の運びとなった。

さて、晴天に恵まれた10月20日、札幌駅「鐘の広場」に14時集合。送迎バスで一路会場の「定山溪グランドホテル・瑞苑」に向かう。

ホテルの受付では久しぶりで逢う懐かしい顔・顔。中にはニギビ顔、おさげ髪から54年も経ち、あの人誰？...など戸惑う場面も。

部屋に移動後、早速浴衣に着替え一服、お茶を飲み小話をしながら温泉につかる。久しぶりに良い湯だ。

参加者58名、午後6時、懇親会が鎌田君の司会で始まる。

幹事を代表して片山から参加に対するお礼と同期会開催の経過及び同期生の状況などを含めて挨拶があった。

同期生のうち物故者は35名と把握しているが、それ以上いるとの話もあるとのこと。全国に散った友の把握は難しい。

続いて星野君の二胡演奏。そして森谷君の一本締めで宴が始まる。

森谷君は勤医協の医師であるが挨拶の中で「6年半前に食道癌で余命1年と告知され、三途の川から奇跡的に舞い戻り、週3回のゴルフと仕事を元気に続けている」との話があり、一体これは奇跡か本人の精神力なのか。いずれにしても森谷君「頑張れ!」。

宴は男女半々位なこともあり、皆共通の話題が多いらしく、おいしい料理と酒をたしなみながら、社会情勢、年々くらし、家族のこと、健康のこと、生きがいや余暇の過ごし方、など大いに会話が弾む。

古希を過ぎた同期生だが、皆健康に留意し、元気に暮らしている様子が窺える。特に女性の方が若々しく感じられるのは、おしやれ染めと厚化粧の技のなところ

かも（失礼）。

こうして、昔のようにカラオケなど歌うものもなく、会場全体で止めどもなく話の輪が広がる。さて、宴も終わりに近づいたところで、全員で同窓会で作ったCD「深川西高等学校校歌」の伴奏で声高らかに「源遠き石狩の...」を斉唱、宴がクライマックスに達した。

最後の締めは秋田から駆けつけてくれた生徒会会長でもあった松本君（元大学教授）の挨拶と二本締めで終了した。

その後、二次会と宿泊部屋でもさまざまな話がいくつもの車座を作りながら延々と続き、翌朝幹事さんに感謝の意を申し上げ乍ら我が同期会が終了、それぞれの帰途についた。

なお、幹事さんの話だとこれが最後という話も出ていたが、是非もう一度同期会を開催していただけるよう期待し、改めて「幹事さんご苦労様」そして、一生忘れぬ思い出をありがとう!と言いたい。

【報告者・星野友雄】

## 深川西高校第16期同期会 第9回同期会

開催日・2011年10月10日  
世話人・星野 孟  
恩師・田中芳雄、長山征四郎  
参加者44名  
会場・プラザホテル板倉

### 【これまでの経過】

昭和39年に卒業、その後有志の企画で同期会、クラス会が開催されていた。  
昭和49年（第1回）5年ごとに同期会を開催する。  
昭和59年（第2回）同期会（組織）を発足させ役員などを決める。  
第1回 1974年 深川  
第2回 1989年8月15日 深川  
第3回 1989年 深川  
第4回 1994年8月14日 深川  
第5回 1999年10月7日 定山溪  
以降3年ごとに開催する。  
第6回 2002年10月27日 札幌

第7回 2005年9月10日 深川  
第8回 2008年9月6日 札幌  
第9回 2011年10月10日 深川  
次回予定  
第10回 2014年6月22日 札幌

【報告者・星野 孟】

## 深川西高校 18期同期会・猪子会

秋の深まりの感じる中、各自思い思いの感慨を胸に抱きながら集結の場所、ポールスター札幌に集まる。車に便乗の我が身は楽チンモードで車窓から南に帰る白鳥やマガンの落穂を食む姿を眺めつつ地球には垣根の無い彼らの生活を羨むのみであった。人生を80年とすれば残された時間は後、15、6年か。南に北に移動を重ねる鳥たちも危険に曝され生きていくのは大変だろうが...と、思いつつ、ちよつぱり自由なのかと思ってみたりもする。相変わらず都会は人の波が大きい。受付開始前に到着の数人の姿に、あわてて受付の準備を開始。順次、続々と到着。それぞれが様々な経過を辿って参集したのを想像するのにも楽しい。自宅から、子供の処から、親戚の所からや乗り物を乗り継いでやつと到着したものも居る。会場にたどり着かずウロウロ組もいて酒の肴になりそう。参加者全員集合!!

記念の集合写真を別室で写す。笑顔を要求されてしわ伸ばしに役貢献。5回もシャッターを切ったので素晴らしい写真が出来上がった。だう。

会場にもどる伊東由紀夫君の司会進行で会に突入。宮岸代表の深川の報告を交えてのいつもながらの軽妙な挨拶。次回開催は深川の地で...とのアナウンス。

みなさん!!次回は深川ですよ。いろいろ考えてますからね。『飲みっぱなしのフルタイム』とか『まだまだ頑張る団塊世代』『頑張ろう!団塊世代』とか。

戸田先生のスピーチ。津田先生のスピーチ終了。奈良から参加の野沢（柳瀬）さんの乾杯で歓談に突入。しばし歓談。や

がて、遠方順に近況紹介。時計の針はすぐ回る。早い!!

散会にあらず、といひながら二次会の締めを行う。

で、会場を移して二次会に突入。進行はもろん島田(長谷川) 清江さん。脳の体操から始まって、次会に引き続きそれぞれ近況紹介。質問タイムも付く丁寧な。

深川方面日帰り組は9時半お開き退室。津田先生、広田(立花)、川本(山本)、生野(高瀬)、松本(豊) 鈴木毅、成田夫妻、溝口、渡辺(陽)等と別れを惜しみつつ、前髪はなくなっても後ろ髪はあるのでこれを引きながら、みなさん、ごめんなさいね。引き続き車中でも盛り上がりたのは言うまでもない。車内のお客さんごめんなさいね。

深川到着。雨上がりの夜の帰路は心地良い風が抜けていく。宿泊組はまだ交友を深めていたのだ。何でも4次会まで延々と続いたとか。素晴らし!!

で、次回はもう一押し「救おう!日本」「頑張ろう!!団塊世代」を旗印に開催しますか。黙っていても体力は落ちてきていま

す。気持ち少しづつ萎えてきています。でも、それは隠れて見栄っ張り分進んで行きたいですね。皆様の参加の協力に感謝して。次回、又深川で会いましょう。



(文責・溝口)

## 21期 還暦記念同期会を開催

恩師・田中敏夫、天田俊治、長尾教逸  
世話人・梶川 寛、高崎 彰  
会場・プラザホテル板倉

### 【状況報告】

東日本大震災の起きた2011年3月11日に第1回幹事会を開催し、8月13日の同期会に向けての取り組みを始めた。2011年は同期が定年退職となる年であり、それを記念しての深川市での開催であった。

古い名簿からの案内状の発送により、不明で戻ってくる多数の封書について分担して住所を探り、当日は約80名の出席者を迎えることが出来た。

今回は札幌市での開催を目指している。なお、会費の余剰金は日赤を通し東日本大震災の義捐金として支出し会計を閉じた。

【報告者・宮川央子】

## 深川西高校23期同期会 卒業40周年並びに還暦祝い

開催案内から開催日まで約2ヶ月経っていたので、中には病欠とか忘れていたとかで、何人かは欠席するのでは?と思っていたけれど、全員揃ったのは驚きました。

司会者(坪田)の挨拶が必要以上に長く不評を買っていました。恩師・愛川先生の40年ぶりの講話に皆心を打たれ、先生のおかげでその場は納まりました。全員にスピーチをと思いましたが90人全員が1分しゃべっても90分!諦めました。

終わりに近づき、もう一人の恩師・岡崎先生にも40年ぶりの講話を頂きました。が、人生についてのお話を頂き、皆終始懐かしく思っていたようです。

結びに、山下市長が謝辞を述べ、我々同期の団結の強さに感激をし、5年後の

再会を誓いそれぞれ夜の街に流れて行きまた。今回の90名の参加は、本当に驚きでしたが、40周年の節目として参加者皆さんに感謝申し上げます。



## 第32期同期会

第32期(昭和55-1980年卒)卒業生による第2回目となる同期会を、ひとつの節目である50歳を機に地元有志が発起人となって、平成24年1月2日に深川市プラザホテル板倉において開催しました。年のはじめの多忙な時期に79名の方が参加。帰省にあわせて東京近郊、愛知県などからも参加があり、実家がないにもかかわらずわざわざ千葉県から参加くださった方もおられました。

高校時代の懐かしい写真や、西高同窓会HPからお借りした旧校舎写真、一足先の12月に行われた関東地区でのミニ同期会に参加された皆さんから届いたビデオレターなどを鑑賞、高校時代の事柄を題材としたクイズ大会やじゃんけん大会

でも盛り上がり、2次会にはほとんどの方が残って、既に卒業後30年余りも経ってしまいましたが、皆高校生時代に還って昔と変わらないひとときを過ごしました。今回は、なんと22歳のときの第1回目以来の開催でしたが、次回は近いうちに開催をしようという約束をして散会しました。

【報告者・伊賀俊哉】



## 深川西高校33期 卒業生の集い

深川西高校第33期卒業生の集いの報告をさせていただきます。  
去る、8月13日(土)、午後5時、プラザホテル板倉にて開催。



大垣 内忠道 先生、湯川 界先生、押生 俊広先生、部 俊広先生、総勢44名の参加でした。

オリビック並みに、4年に一度開催しており、今年で4回目です。

同期会の名称は「元気でやってくる会」と名付け、会長は紺野浩治君です。恩師からご挨拶をいただき、乾杯で宴に入りそれぞれが自己PRや近況報告をしなが

ら盛り上がりました。毎度のことながら、紺野会長は盛り上がり、飲みすぎ、強制送還をくらっています!

【水上真由美】

## 同期会開催案内

14期

深川西高校14期同期会  
卒業50周年同期会

開催日 2012年(H24年) 9月13日  
午後5時30分  
会長 若林 直  
代表幹事 内海和人  
会場 定山溪グランドホテル瑞苑

### オプション行事

- ① 9月13日 ゴルフ大会
- ② 9月14日 パークゴルフ大会
- ③ 9月14日 札幌ミニ観光

<ルート> 道庁旧庁舎→北海道神宮→大倉山ジャンプ競技場→藻岩山ロープウェイ→すすきの



# 深川西高等学校

## 「緑の学舎運営委員会」



### 〈23年度・事業報告〉

#### 昨年報告済み

- ◎ 23.3.2 第1回運営委員会
- ◎ 23.4.10 校舎前庭の枝折れ樹木整理  
岡部、溝口、堀川、坪田、内村、篠原
- ◎ 23.4.22 桜花爛漫・現地確認とコモはずし  
岡部、溝口、森林組合2名

#### 未報告分

- ◎ 23.5.29 現地現状確認
- ◎ 23.6.6 現地現状確認、除草剤散布 岡部、溝口
- ◎ 23.6.19 案内板設置作業  
「70年記念桜の森」と「修練道場」への分岐点  
注意看板取り付け作業「山火事注意」の看板2枚  
岡部、平田、大西、成田、内村、篠原、藤井、  
竹林、溝口  
午後、防除作業・・・岡部
- ◎ 23.7.10 現地現状確認
- ◎ 23.9.11 防除作業・・・岡部、溝口
- ◎ 23.9.30 卒業記念植樹会場下草刈り 高齢者事業団依頼
- ◎ 23.10 校名入りヘルメット20個の購入
- ◎ 23.10.5 卒業記念植樹会場穴掘り作業  
岡部、三上
- ◎ 23.10.10 雨の中、第64回卒業予定者記念植樹敢行  
岡部、平田、竹林、堀川、藤井、溝口
- ◎ 23.10.24 桜補植10本・・・合計23本になる  
岡部、篠原、内村、堀川、竹林、溝口
- ◎ 23.11.21 アオダモ植樹のため芝生切り取り、植樹穴準備、溝口
- ◎ 23.11.22 校舎前庭にアオダモ植樹  
在校生野球部17名、顧問1名 OB会、桜井会長  
学校・石見教頭、吉田先生  
同窓会・岡部、篠原、内村、堀川、藤井、溝口
- ◎ 24.3.7 24年度第一回運営委員会

#### <議題>

#### 1、今期の事業予定について

#### 【春 期】

- ◎ 学校林現地調査
- ◎ 融雪前の植樹林及び校舎前庭の管理  
山、学校の冬囲い取り外し 雪害木の点検・事後処理
- ◎ 研修会の実施  
当別の道民の森・美唄の林業試験場・厚田の戸田墓苑  
長沼の苗木屋の圃場見学
- ◎ 遊歩道整備 シウリスakura、広場の桜周辺
- ◎ 野の花の植生を探る・・・  
「音江山麓の山野草を愛でる会」の開催
- ◎ 末端駐車広場のエゾ山桜周辺整備

#### 【夏 期】

- ◎ 作業道管理・・・作業道側溝の流土石除去
- ◎ 記念植樹、宮脇桜管理・・・特に防除強化
- ◎ 同窓会林、修練道場、同窓の泉の管理
- ◎ 看板等・散策路整備・銘木ポイントの整備と図面整備

#### 【秋 期】

- ◎ 卒業記念植樹事業の準備 生徒への周知と選定作業
- ◎ 桜の補植
- ◎ 修練道場周辺整備・・・シウリスakuraの植樹
- ◎ 冬囲い

- ◎ 24.4.8 冬季の植樹状況確認 溝口  
エゾウサギの被害が甚大
- ◎ 24.4.13 校庭の処理木下見 岡部、宮本運輸、溝口
- ◎ 24.4.22 校庭の危険木除去作業 宮本運輸4名、重機各種  
岡部、平田、坪田、内村、成田、溝口
- ◎ 24.5.9 育林事業現状視察  
林業試験場（美唄）・道民の森・戸田墓苑  
岡部、平田、篠原、堀川、溝口
- ◎ 24.5.11 校庭未処理樹木処理作業・・・3箇所  
カラスの巣撤去作業・・・2箇所  
宮本運輸寄贈「紅花のモクレン」移植作業。
- ◎ 24.5.13 桜の杜、現地確認。山道に雪があり徒歩にて現地へ  
咲き始めていたので、囲いをはずし傷跡処理 堀川、溝口
- ◎ 随時 校舎前庭のユリノキの防寒、防雪対策実施  
コモはずし

### 〈24年度・事業計画〉

#### 【校舎周辺】

- ◎母校の植栽木の生育、安全等の確認
- ◎10年計画による植栽木、老木を引き続き更新する予定

#### 【記念植樹地】

- ◎記念植樹の桜、桂、辛夷の追加と管理
- ◎宮脇サクラの管理
- ◎現地整備 駐車場の確保・植栽周辺の環境整備
- ◎植樹後の管理作業

#### 【同窓会林】

- ◎希望者対象者の修練道場、湧雲の白樺見学サポート
- ◎湧雲の泉の管理・・・水質検査の実施
- ◎間伐地の管理、作業道の管理
- ◎学校林作業道の排水管理

#### 【卒業記念植樹】

- ◎第3回の卒業記念植樹（65回生）

#### 【研修会等及び啓蒙事業】

- ◎林産試験場視察
- ◎他団体との協賛事業

#### 【記録誌編纂事業】 仮称・「湧雲の麓に育つ木々」

- ◎開校時から委員会設立までの学校を取巻く緑の環境の経過を記録
- ◎委員会の設立以降の経過・5年間の記録し記念誌として残す
- ◎発行は25年夏の予定





# 研修報告

5月9日

参加者：岡部・平田・篠原・堀川・溝口

午前8時、一台の車に収まったので移動は気楽。

委員も校庭の桜をゆつくりと見たことが無いというので最初に校庭の桜を見る。処理した樹木のその後を確認。宮脇桜も改めて確認するがこちらはもう少し先の開花。

一路、美唄に向けて出発。9時30分到着の美唄林産試験場は12号線のすぐそばに位置し、好立地と見た。咲き誇る桜の花を見学、場内の説明を受ける。定期的に早いのもあってみるべきものは少なかつたが様々な樹木で作られた垣根が圃場の中を幾筋も通り、後日の再訪問を記憶した。ここでは花粉の出ない白樺が育成されていて校庭に植樹するにはふさわしいのかも思われ。試験場の正面に植わっている古代樹木のメタセコイアの姿が美しい。展示室は木造なので外壁面のあちこちにアカゲラなどが穴を開けて巣作りをしていたのがほほえましい。



美唄林産試験場

後日の再訪問を約束して一路、道民の杜へ向かう。道路脇に残雪の残る中山道は好天氣に恵まれて更に気持ちよく、なにより絶対のドライヴになった。

この残雪のため目的の杜までは道路が開通して、いなく、てキャンプ場が最終到達地となった。この管理の方にお世話になり、採り立ての白樺樹液をたっぷりとお馳走になった。なぜか目に付く沢山のシウリサクラの赤い新芽が目にもよしかった。

気を取り直して、来たコースをほとんど戻り、厚田に向けて再出発。青山を抜けて快晴のお天気も曇りだしたが、ついたり晴れたり。お天気と期待して山道を走りぬける。13時過ぎ墓苑の入り口を通過するが昼食時を逸しているのので少し先まで延長。先日の校庭での作業の慰労を兼ねて浜で遅めの昼食。

タイミングは実にぴったりで、丁度桜も満開状態。水曜日ということもあって車も少なくゆつたりとした研修となった。我々には8000本の桜を勘定することは出来ないが、植えられている高低木すべてにナンバリングがされている。どの樹は何本あるかがすべてわかるようになっている。毎日の管理の凄さが見ただけでわかる墓苑の実態であった。凄い!!

特に幹周りの保護、病気の樹木処理、雪害対策、根周りの保護など通常の管理がどれ位大変か理解できるだけに想像を超えた景観を作り出していた。それにしても美しい桜並木となっていた。桜のトンネルもとっても素晴らしい。



戸田墓苑桜研修

同窓会の桜の杜も常駐して多額の資金を注入して管理しないとあれほどの景観は保てない。まあ、適当なところで一件落着きしなければ続かない。雪の上に出て被害に遭わないような処置をして、後は自然任せで目的を達成しよう。

15時30分墓苑を出発。浜益までの美しい海岸を眺めながら途中目に入る山や庭の自生の桜を満喫しながら浜益でタコを仕入れて深川に到着した。地域によって農作業の違いが特に目に付いた。悪い地域でも育った環境に馴染むしかないが改めて深川は農業には素晴らしい所だと認識した。

## 校舎前庭 樹木枝折れ 除去作業報告

2012年4月22日(日)

AM 8:00

集合・現地(西高校前庭) 参加者：岡部・平田・坪田・内村・成田・溝口

宮本運輸より4名

クレーン18m・30m・廃棄枝運搬車

### 【作業結果】

生徒玄関前のヒバの木の枝透かしキハダ(シコロ)の枝払い  
松の木3本の枯れ枝除去、枝透かしナナカマド1本、古木のため一部枯れ幹撤去  
白樺2本撤去、校歌に歌われているので別の機会に数本補植をする。

とどまつ一本を輻輳した植栽のため撤去



撤去作業

【作業経過】  
朝から絶好の作業日和に恵まれ、8時丁度作業開始。重機を利用しての作業なので委員の仕事は枝拾いと雪囲いのとりはずり。オオダモの植樹後の確認。



白樺の芯腐れ

予想以上に黒松の枝透かしに時間がかかり午前中に仕事が終わりました。

白樺二本は芯クサレが予想よりは進捗してはなかったがバランスと外観からの判断は樹齢から推測して伐採は適切だったと判断する。岡部・溝口が午後の部を担当し2時半頃終了する。

宮本運輸会長からピンクのモクレンの提供の申し入れがあった。5月の7日以降に移植したいとのこと。学校の了解を得て話を進める。雪融けが遅かったこともあって雪が少し残っていたことで地面を痛めることもなく終了できてよかった。

## 緑の学び舎運営委員会 5年の歩み

～発足から5周年とそれまでの歴史を辿る～

### 【目的】

開校以来からのこの委員会に関する同窓会林や校庭の樹木の管理運営については多くの資料を持たない。5年前の委員会創設以来数々の事業を行ってきたが経過を記録にとどめることが必要と考えてできる限りの時間の掘り起こしを行い記録集として編纂する。幸いなことに未だ多くの先輩が元気でご存命なのでこの機会を逃すと記憶が途絶えてしまう。

### 【内容】

〈委員会発足まで〉

- ・ 沿革
- ・ 開校当時
- ・ これまでの学校林
- ・ 校庭の改築から
- 〈委員会発足から〉
- ・ 設立経過
- ・ 規約
- ・ 事業報告(年度別)
- ・ 写真集(年度別)
- ・ 委員名簿
- 〈未来に向けて〉

### 【発行予定】

24年度の事業終了後発行予定



桜の補植作業

# 第十五回 同窓の夕べ盛大に開催

第十五回「同窓の夕べ」が平成二十三年九月十七日に参加二〇余名を得て盛大に開催されました。世話人は末尾「四」の期で構成。三十四期石川さんの進行で開始。開会に先立って例年通り吹奏楽の演奏から始まりました。例年通り狭いステージを物ともせず、ノリノリで元気にオープニングを飾ってくれました。

堀川実行委員長の挨拶、大西会長より参加者へのお礼、須藤校長よりは学校の近況を報告して頂きましたが私語が多く大変ご迷惑をおかけしました。

五期生の白井章浩さんの音頭で乾杯に入りました。今回もビュッフェ形式のお料理でお腹を満たし美味しいビールでのどを潤しましたが序盤はあつという間に料理消滅。後半で出てきた料理は残っていましたよ。残念。でも参加者一同満足。

同窓会お名前ビンゴは二十四期、ジャンケンポンは三十四期、お楽しみ抽選会は四十四期がそれぞれ担当して夕べを盛り上げてくれました。

アピールコーナーでは岡部さんから桜の植樹のその後の状況報告がされていよいよ宴も終盤に入り、中井秀夫さん指揮、山岸久仁子さんのピアノ伴奏で旧中先輩が「雪解の水を湛えたる♪」を熱唱。引き続き全員で声高らかに校歌を歌いました。

最後の締めでは次期実行委員長・杉山一成さんの決意表明。盛会の中、夕べは閉会となりました。



受付風景



吹奏楽演奏



お名前ビンゴ



料理



じゃんけん大会



抽選会



進行・石川さん



白井章浩さんの乾杯



旧中校歌斉唱



会場風景

## 同窓の夕べ 開催のおしらせ

第十六回「同窓の夕べ」を次の通り開催致します。

日時 平成二十四年九月八日(土)  
開演 午後六時  
(吹奏楽部の演奏)  
開会 午後六時半  
会場 プラザホテル板倉  
(深川市三条六番)  
会費 二,〇〇〇円(当日券あります)

実行委員会は十五期、二十五期、三十五期、四十五期、五十五期が担当です。実行委員長は十五期の菅原明義さんです。

毎回ジャンケン最高に盛り上がりがあります。お名前ビンゴに一喜一憂し、趣向を凝らした抽選会で大勢の同窓生の親睦を深めます。

特に未参加の方、又、遠方の方でも都合が付きましてからこの日に日程を合わせて参加して戴けたら嬉しいです。多くの同窓生の参加をお待ち致しております。



## 平成24年度 高体連北空知支部大会等結果一覧 (全道大会出場一覧)

### 〔陸上部〕

|    |         |    |                                                |
|----|---------|----|------------------------------------------------|
| 男子 | 200m    | 優勝 | 原 宗一郎 (2年)                                     |
|    | 400m    | 優勝 | 原 宗一郎 (2年)                                     |
|    | 110mh   | 2位 | 松井 誠浩 (3年)                                     |
|    | 円盤投     | 4位 | 竹原 高德 (2年)                                     |
|    | やり投     | 5位 | 伊藤 優司 (3年)                                     |
|    | 八種競技    | 優勝 | 松井 誠浩 (3年)                                     |
| 女子 | 100m    | 3位 | 鹿角 美月 (3年)                                     |
|    | 走高跳     | 5位 | 鹿角 美月 (3年)                                     |
|    | やり投     | 3位 | 辻村 奈美 (3年)                                     |
| 男子 | 4×100mR | 4位 | 河合 裕信 (3年)・原 宗一郎 (2年)<br>青木 玲王 (3年)・松井 誠浩 (3年) |
|    | 4×400mR | 優勝 | 佐藤 寿樹 (2年)・伊藤 優司 (2年)<br>原 宗一郎 (2年)・松井 誠浩 (3年) |
| 女子 | 4×100mR | 3位 | 高畑枝梨乃 (3年)・鹿角 美月 (3年)<br>北島 亜美 (3年)・辻村 美奈 (3年) |
|    | 4×400mR | 2位 | 高畑枝梨乃 (3年)・辻村 美奈 (3年)<br>鹿角 美月 (3年)・北島 亜美 (3年) |

### 〔卓球部〕

|    |       |    |                       |
|----|-------|----|-----------------------|
| 男子 | 団体    | 優勝 |                       |
| 男子 | シングルス | 5位 | 霜山 亮太 (3年)            |
|    |       | 6位 | 平賀 風登 (1年)            |
|    |       | 7位 | 青柳 大輝 (3年)            |
|    | ダブルス  | 2位 | 青柳 大輝 (3年)・本瀬 拓斗 (3年) |
|    |       | 3位 | 霜山 亮太 (3年)・平賀 風登 (1年) |
| 女子 | シングルス | 3位 | 榮 珠藍 (1年)             |

### 〔女子バレーボール部〕

2位

### 〔バドミントン部〕

|    |       |    |                       |
|----|-------|----|-----------------------|
| 男子 | 団体    | 2位 |                       |
| 女子 | 団体    | 優勝 |                       |
| 男子 | シングルス | 2位 | 内山 創平 (3年)            |
|    |       | 3位 | 辻本 哲也 (2年)            |
|    |       | 4位 | 江刺家結哉 (2年)            |
|    | ダブルス  | 優勝 | 内山 創平 (3年)・辻本 哲也 (2年) |
|    |       | 3位 | 佐藤 恭輔 (3年)・江刺家結哉 (2年) |
| 女子 | シングルス | 優勝 | 牧野 怜奈 (3年)            |
|    |       | 2位 | 河上 由奈 (2年)            |
|    |       | 4位 | 大塚 葵 (3年)             |
|    | ダブルス  | 優勝 | 牧野 怜奈 (3年)・大塚 葵 (3年)  |
|    |       | 2位 | 河上 由奈 (2年)・川上あかね (1年) |
|    |       | 3位 | 牧野つくし (1年)・花田 優依 (1年) |

### 〔放送局〕

|             |                           |
|-------------|---------------------------|
| ラジオドキュメント部門 | 優秀賞 「故きを温ね新しきを知る」         |
| テレビドキュメント部門 | 優秀賞 「伝統を受け継ぐということ」        |
| 研究発表部門      | 優秀賞 「アナウンス練習ー見て・聞いて・話してー」 |

## 平成24年度 全道大会結果一覧

### 〔バドミントン部〕

|    |       |    |                                   |
|----|-------|----|-----------------------------------|
| 女子 | 団体    | 3位 | (北海道ブロック)                         |
| 男子 | ダブルス  | 3位 | 内山 創平 (3年)・辻本 哲也 (2年)             |
| 女子 | シングルス | 3位 | 牧野 怜奈 (3年) (北海道ブロック)              |
|    |       | 3位 | 大塚 葵 (3年) (北海道ブロック)               |
|    | ダブルス  | 3位 | 牧野 怜奈 (3年)・大塚 葵 (3年)<br>(北海道ブロック) |

### 〔陸上部〕

|    |      |    |                |
|----|------|----|----------------|
| 男子 | 八種競技 | 3位 | 松井 誠浩 (3年)     |
|    |      |    | ⇒ 全国大会出場 (新潟県) |

## 同窓会名簿発行のお知らせとご協力のお願い

このたび、5年ぶりに同窓会名簿を発行いたします。  
後日(12月上旬予定)名簿作成用の確認はがきをお送りいたしますので掲載内容をご確認のうえご返信をお願い申し上げます。  
また、名簿のご予約、名簿作成賛助金、賛助広告のご掲載にご協力賜りますようお願い申し上げます。

- 発行予定日 平成25年9月下旬発行
- 名簿価格 3,800円(送料・税込み)

※名簿作成の作業は前回同様サラトに委託します (<http://www.salat.co.jp>)

### 《お願い》住所資料をお持ちの方へ

学年(クラス)名簿、クラブ名簿、支部名簿等をお持ちの方は同窓会事務局宛てお送りください。(ご返却必要な場合はその旨ご記入ください)

よろしければ賛助金・広告のご協力をお願いします

|             |          |
|-------------|----------|
| 名簿作成賛助金     | 10,000円  |
| 広告 カラー 1頁   | 200,000円 |
| モノクロ 1頁     | 80,000円  |
| モノクロ 1/2頁   | 50,000円  |
| モノクロ 1/4頁   | 30,000円  |
| 名刺サイズ(文字のみ) | 18,000円  |

※名簿作成賛助金、広告ご掲載者には名簿進呈



## 再度の 資料収集の お願い

次回、開校八十年周年記念を迎えるまでには同窓生のお手元にある在校当時の資料を収集したいと考えています。年数を経ると貴重な資料も散逸して確保が困難になるからです。ご提供いただけるものがあれば是非お願いしたいと思います。お借りできるものはコピーをしてお返しいたします。

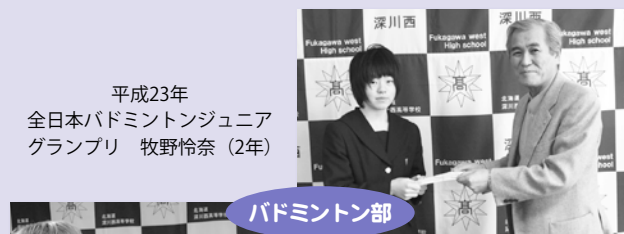
中でも学校祭やコーラス大会などの行事のプログラム、各クラブや部活の機関紙などです。特に文芸クラブの「うまごやし」などがあると良いですね。六十年記念誌、七十年記念誌などに資料の明細が出ていますので参考にいただければ幸いです。どんなものでも構いませんのでお手元に資料がありましたら是非ともご協力をお願いいたします。



陸上部

平成24年 全国大会  
陸上部 8種競技 松井誠浩 (3年)

健闘を  
願って



平成23年  
全日本バドミントンジュニア  
グランプリ 牧野怜奈 (2年)

バドミントン部



平成23年 全国ジュニア大会  
ダブルス 牧野怜奈・大塚 葵 (2年)



# 同窓会林・ 修練道場

国の林野行政も政権が変わる度に変わるのはいづれにせよ、同じ政権内でもころころ変わるの話を聞く。人口の減少、経済の停滞などから災害や被災地を除いては住宅の新規の着工も少なくなってきた。資源のない日本が輸入材に頼らなくても自分の国で賄うことも出来るようになるまで林野行政の目がいきとどくのかどうか。忘れられた山や島も外資の餌食や国土保全の重要性から幾らかなりとも対応が出来てきているのが目に見えてきたし、荒れた山も手を加える必要性を国も理解し始めたと思っていたのですが。

昨年、間伐作業を行った林も一年経つと生い茂った草に覆われ元の自然状態に戻っている。間伐された木々は又他の木々の滋養となって輪廻して行くのでしょうか。バイオマスの原料にはなったのでしょうか回収しても採算は合わないようです。

前号で書きましたが、広い林の一部しか見ることは出来ませんが所要所にポイントになるものがあります。開削したいのですが一年で熊笹が生い茂り、自然状態に戻っていくのが現状です。既報の通り自生の桜やシウリザクラもあちこちにあり銘木に成りそうな大きな樹もあることから何とか導入路を整備したいというのが今後の推進事業です。

## 湧雲の泉について

前号で既報の通り、何もない崖の根元から滾滾と泉が湧き出ています。手が切れるような冷たさで隅々まで染み渡る美味さは今年も変わりません。泉まで石段をつけます。



校舎の桜

## 湧雲のいわれ

1998年、開校60周年記念誌を発刊した時に、当時の津田会長が小川東州氏に依頼し、小川氏が選んだ文字です。

語源は「青雲の志が雲のように湧き出ること」を表わし、この時3点が揮毫されました。

以来、機会あるごとに「湧雲」の文字が使われるようになりました。音江山中腹に同窓会林があります

が、丁度雲が湧き出ずるあたりに大きな白樺が生えています。この白樺を「湧雲の白樺」と呼び、一尾根東に湧く湧水を「湧雲の泉」と名づけています。



冬の湧雲の白樺

## 平成23年度 決算報告

### 収入の部

| 項目    | 金額      | 備考         |
|-------|---------|------------|
| 前期繰越金 | 179,904 |            |
| 入会金   | 229,500 | 150×1,500円 |
| 振替金   | 50,000  |            |
| 雑収入   | 12,914  |            |
| 合計    | 472,318 |            |

### 支出の部

| 項目    | 金額      | 備考    |
|-------|---------|-------|
| 総会費   | 117,020 |       |
| 役員会費  | 24,300  |       |
| 会議費   | 49,612  |       |
| 交際費   | 150,000 | 饗別・激励 |
| 事業費   | 96,600  |       |
| 通信費   | 9,045   |       |
| 印刷費   | 9,639   |       |
| 事務費   | 525     |       |
| 雑費    | 2,730   |       |
| 次期繰越金 | 12,847  |       |
| 合計    | 472,318 |       |

## 同窓会会報決算書

### 収入の部

| 項目  | 金額        | 備考     |
|-----|-----------|--------|
| 協力金 | 2,132,830 | 1,113名 |

### 支出の部

| 項目     | 金額        | 備考         |
|--------|-----------|------------|
| 印刷・発送他 | 1,738,566 | 10,432名に送付 |

|         |           |
|---------|-----------|
| 収入      | 2,132,830 |
| 支出      | 1,738,566 |
| 一般会計で補填 | 394,264   |

## どろやなぎ

(編集後記)

▼回を重ねて漸く第四号の発行が出来ました。卒業記念植樹は二度目の事業でしたがまだ二年では森には程遠い状態です。それでも雨の中に植えたことを覚えていてくれる「期になる木」から「気になる木」になつてくれることを願っています。

▼三号発行時は皆さんに応援して戴きました。おかげでわずかに剰余金が出来ましたので第四号はご協力戴いた方のみにお送りすることが出来ました。

前号でお知らせしたように第五号からは全員に送付は致しません。しかしながらこれまでと同じように皆さんにご協力は戴かなければ発行できません。方法は変わりますが引き続きご協力下さいますようお願い致します。

▼暖気で締まることもなく春を迎えた今年は、近年にない大変な積雪に見舞われて北国はげんざりしています。「大雪の年は豊作」の言い伝えが合っているかどうかは出来秋を迎えて証明されます。農家の春作業も遅れ気味でスタートしましたがやつと追いついたようです。

## お詫び

今号は諸般の事情により「古い文書から」「活躍する同窓生紹介」「OB会紹介」を割愛させていただきます。次号は必ず掲載したいと思っています。

三号11Pにて「11回生の宮内慶一氏より」は「11回生の宮内慶夫氏」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

## ホームページ紹介

### 同窓会ホームページ

<http://mypage.fukanavi.com/nishikou/>

### 同窓会紹介サイト

深川地域ナビ「深ナビ」でのモール情報にアップしています。

<http://mypage.fukanavi.com/>

から入って、ジャンルの教育・学校・高校

### 西高校の紹介ネット

<http://yubitoma.sphere.ne.jp/>

現在登録者 300名

▼民主党が政権を執った時には日本は変わるかもしれない、と思っていたのにこんな変わり方をしてしまったのは日本滅亡になるかも知れない、という危機感を抱く。何もかもどうも変だ！特に面白おかしく情報操作のごとく世論を誘導しているメディアの責任は大きい。背後に蠢く謎のクラウドを感じる。何事も眉に唾して見ることをお勧めしておく。

▼地球の温暖化と地球の寒冷化の両論が飛び交い始めました。太陽活動の低下が原因のようです。大地震や大災害は数百年単位、数千年単位、数万単位というものですが存命中に出遭わないという保証はありません。

▼今回は緑の学び舎関係の記事が多くなつてしまいました。機嫌よく育つてくれない苛立ちから来るのかも知れません。末永くお付き合いください。